



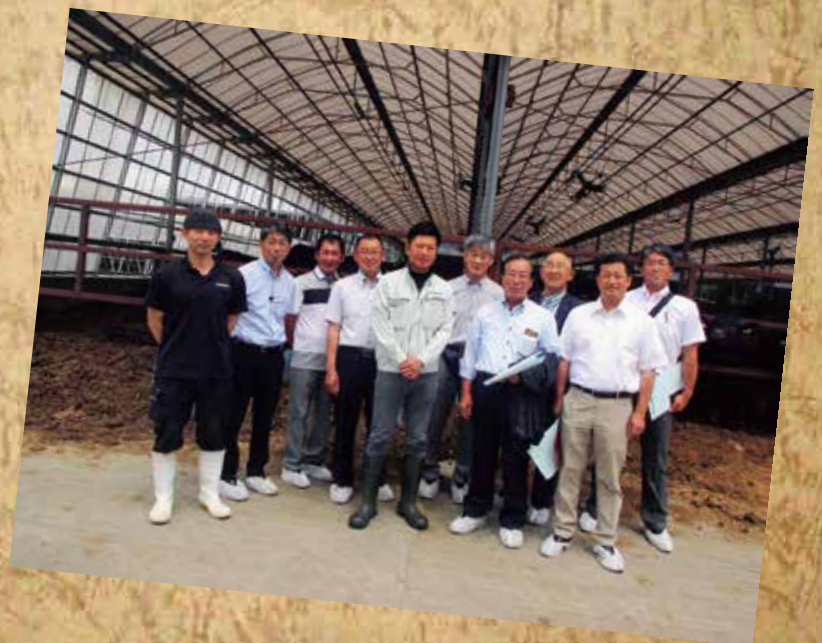
JA ゆうべつ町広報誌



KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だなと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



ディリーファーストゆうべつ役員研修(上段)
農協役員視察研修(下段)

2019. 8 vol.167

令和元年度 役員道外視察研修報告

令和元年7月9日
〜12日

令和元年度、役員による道外視察研修を7月9日から12日の日程で実施しました。

今年の研修は大規模農場の視察として栃木県の瑞穂農場。改正畜産経営安定法にかかる指定団体制度の意見交換として中央酪農会議及びよつ葉乳業(株)東京支店。当JA今後の事業展開の説明及び意見交換のため農林水産省と武部新事務所へ訪問して参りました。

1. 瑞穂農場那須支店

(栃木県那須塩原市)

瑞穂農場の創業は昭和26年。当初は肉牛肥育経営を行っていましたが、平成12年酪農経営も展開し、現在では9支店、8戸のグループ会社で経営を行っている大規模農場です。

今回視察した、那須支店では約2千頭の乳牛と肉牛、約5千頭を飼養・販売しております。酪農部門では60頭用のロータリーパーラーで、1日3回搾乳しており日量70tの生乳を出荷しています。従業員は50名で外国人研修生は15名おります。従業員の安全を最優先しヘルメットの着用等、農作業事

故対策を図っております。

飼料は自家所有地が、約50ha程度で大多数が購入飼料で賄っている状況ですが、飼料メニューは非常にシンプルで搾乳牛用と乾乳用のみとなつていると那須支店の中村場長から説明して頂きました。

また、施設の屋根を活用して太陽光パネルを設置し電力の一部を賄っている事や、敷料は「戻し堆肥」を活用し十分水分を調整した後、おがくずと混ぜ合わせ敷料費の節減を行い、環境にも十分配慮している経営を実践している農場でした。



2. 中央酪農会議

(東京都千代田区鍛冶町)

酪農分野の中央団体として、指定生乳生産団体制度を通じて酪農産業の安定と発展に貢献することを目的とした団体であります。

意見交換として、生乳流通制度改革に関する内容の説明や情報交換を行い、改正畜産経営安定法における生乳流通の現状などについて懇談させて頂きました。また、中央酪農会議が事業実施主体として取り組んでいる補助事業の概要説明があり、特に昨年9月に発生した胆振東部地震による災害で活用した生乳流通合理化推進事業により自家発電機を導入した事業などの報告がありました。

3. よつ葉乳業(株)東京支店

(東京都中央区日本橋)

東京支店は昭和57年に設立し現在38名の職員で業務を行っており、青森県から静岡県までの東北関東エリア(1都18県)の販売エリアを受け持っています。よつ葉乳業全体の販売高が千八億円ありその約61%が東京支店で販売している状況です。今後、特に力を入れて販売するのが、飲用の牛乳。平成29年から発売しているキャップ付牛乳が「開けやすい・注ぎやす

い・使いやすい」と利便性を求めた消費者に好評で、順調に販売数量を伸ばしているようです。また、平成30年10月からは「飲むヨーグルト」令和元年6月からは「アイスクリームクリームチーズ味」を販売しており意見交換をしながら試食させて頂きました。



4. 農水省・議員会館

(東京都千代田区霞が関)

農林水産省生産局畜産部を訪問しました。畜産企画課・飼料課・牛乳乳製品課に出向き、JAの今後の事業について報告、特に哺育育成センターの概要などについて報告させて頂きました。

国会議員会館では、武部新事務所を訪問。あいにく選挙活動期間であったため、武部代議士に面会できなかったものの秘書の方と今後の当JAの事業転換について懇談させて頂きました。

役員視察研修を開催

株式会社ディリーファーストゆづべつ

（株）ディリーファーストゆづべつの役員は7月4～5日に役員視察を行いました。

1. 別海町のJA道東あさひ哺育・育成預託センター（キャトルセンター）

施設の概要として導入舎・哺育舎・離乳舎・育成舎1～3棟。合計852頭規模の哺育・育成センター。施設用地として約4.5haで、別海町営牧場内に隣接。事業は平成22年から構想し始めてから予定地の選定や確保など苦労を重ねようやく平成27年から調査設計を開始し平成29年9月に事業着手し令和元年6月に完成した施設であります。受入については令和元年8月から開始する予定です。



また、当施設は、自動堆肥化プロセスを導入。敷料不足による価格高騰により敷料確保と価格が不安視されることから同システムを活用し堆肥を戻し敷料として活用し費用を削減する取組を図っています。

2. JAきたみらい哺育育成センター（置戸）

平成17年から構想を練り平成20年3月に設立準備会を立ち上げ平成22年から50戸861頭規模のセンターを設立。

施設の概要として導入舎2棟、哺育舎3棟、哺育舎（離乳）1棟、育成舎2棟で合計861頭規模の施設となっております。施設は「カラマツ材」の特性を生かしダニやカビの侵入と発生を抑える効果が期待できることや、不動産取得税等鉄骨材より税金面で費用を抑えることができました。

また、場長は獣医師免許を所持しており病気などの対応が早期に行えることが可能となっている農場です。

どちらの農場においても構想から数年かけて熟考を重ねてきた経過がありますし、施設や運営方法も大事ですが、人材を確保することが一番苦労したようです。両農場からたくさんのご指導をいただきより良い視察となりました。現在、ディリーファーストゆづべつは令和2年度中の事業着工を計画中であり、令和4年から事業を開始したいと考えております。視察にはホクレン・普及所・町農政課も同行していただきチームとして意識統一を図り事業確立に向けて進めております。

上渚滑町で視察研修

湧別町農民連盟

湧別町農民連盟は、7月12日に酪農業の六次産業化及び牛舎周りの環境整備を行った事例をテーマとして、上渚滑町の2件の酪農家を視察しました。

最初に、酪農業の六次産業化を行った先進地事例の視察ということで、上渚滑町の（株）オホーツクファーム喜多牧場（以下、喜多牧場）を訪れ、代表取締役の喜多俊晴さんより豚肉および牛肉を販売する事となったきっかけを説明して頂き、昼食は喜多牧場の直営店である「みるとんはうず」で、牧場で育てた牛と豚の精肉を使用した料理を頂きました。



▲「牧場直営店」みるとんはうずで昼食。周りにはお洒落な雑貨が沢山ありました。



▲環境整備された牛舎前で記念撮影

次に、牛舎周りの環境整備を行った事例の視察として、上渚滑町の田村牧場を訪れ田村さん夫婦より取組について説明をして頂きました。

田村さんは「まず余計な農機具を購入しないことです。使用しないのに長年放置された農機具が施設周りがあると、見栄えが悪くなります。本当に使用する物かよく考えてみてください」と、環境整備に関するアドバイスを頂き、最後は奥様がきれいに整備した花壇の前で記念撮影し、今回の視察研修を終える事となりました。

湧別地区年金友の会親睦パークゴルフ大会を開催

6月20日、湧別運動公園で「湧別地区年金友の会」の親睦パークゴルフ大会が行われました。

湧別運動公園での開催は、今回が初めてでしたが、昨年よりも10名程多い28名の会員が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、慣れないコースに苦戦していましたが、大会は大いに盛り上がりました。

大会終了後には、初めての試みとして焼肉で和気あいあいと懇談をし、これも大いに盛り上がりました。来年度も懇親会を予定し開催する予定です。



▲注目の第一打！



▲大会終了後の焼肉で親睦を深める

また、「両地区年金友の会」親睦パークゴルフを9月19日に芭露パークゴルフ場で開催する予定です。多数の参加をお待ちしております。

なお、今大会の結果は以下の通りです。

女性の部		男性の部	
優勝	森田 悦子	優勝	斉藤 安雄
準優勝	上枝 道子	準優勝	林 浩二
三位	井戸 豊子	三位	黒田 紀臣

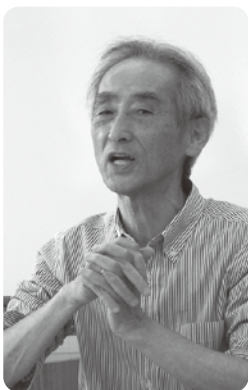
「軽減税率制度」の知識を深める

～湧別農協青色申告会・湧別町農民連盟～

7月16日に湧別町農協本所大会議室において、湧別農協青色申告会及び湧別町農民連盟の合同企画による消費税の軽減税率制度説明会を開催しました。

今回の説明会については本年度10月より開始される軽減税率制度の情報共有と知識を深める事を目的とし、講師に「税理士法人松井一晃事務所」の市村彰典税理士を招き、農家に軽減税率制度が導入されたときに押さえておくべきポイント、令和5年より導入されるインボイス制度について、申告にあたり帳簿・請求書等の記載及び保管についての説明をして頂き、参加者は熱心に話を聞いておりました。

なお、本説明会で使用した資料が必要な方は、湧別町農協営農相談課 熱海まで問い合わせ下さい。



▲講師の市村税理士



◎消費税増税に係る改正事項◎

- ①消費税の本年度申告分については8%、軽減税率8%、10%に分ける必要がある。
- ②簡易課税の事業者についてはみなし仕入率が70%から80%に引き上げされる。
- ③令和5年より適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される。

———など。

コンプライアンス研修会を開催

7月19日、業務終了後に農協役員及びAコープ社員を対象にしたコンプライアンス研修会が行われました。

講師にJA北海道中央会の高橋職員を招き、不祥事の具体例やJA職員として守らなければならない社会的ルールを学び「組合員や地域の皆様から信頼されるJAを目指さなければならぬ」と、役員全員が再確認する研修となりました。



▲講師のJA北海道中央会高橋職員



骨粗しょう症や認知症予防に乳製品を！

～JAゆづべつ町青年部～

JAゆづべつ町青年部は、7月9日に町内の介護老人福祉施設「湖水の杜」にヨーグルト等の寄贈を行いました。

牛乳消費拡大運動として企画されたもので青年部員が「骨粗しょう症予防や認知症予防に効果がある乳製品を、これからも是非食べてください」と手渡しました。

ヨーグルトを食べて、いつまでもお元気でいて欲しいですね。



生乳出荷事故防止について

本年4月～7月上旬において、当組合管内事故発生件数が、抗生物質混入1件、加水事故2件となつています。今後、繁忙期へ向け、作業手順の見直しや確認の徹底をしていただきますようお願いいたします。

- ① 治療牛の確認は全て耳標を目視する。
 - ② 治療後は、スプレーなどで明確に表示する。
 - ③ 複数での作業の時は、搾乳前での確認を行う。
 - ④ 搾乳後のライン洗浄前にバルクからの投入ホースを抜いたことを確認する。(洗浄水投入防止装置も有り)
 - ⑤ 搾乳後の生乳についても目視確認を行う。
 - ⑥ バルククーラーのスイッチ確認を行う。
 - ⑦ 出荷前にミルクドクターにより最終確認を実施する。
- ミルクドクターに異常が見られた時やバルククーラーのスイッチが切れた時などは、異常が生じた時は、生乳係へ連絡し対応について相談して下さい。



生菌数・耐熱生菌に

気をつけて

旬検査等の検査数値に留意願います。どちらの菌も通常少しずつ上昇を見せますが、夏になれば突如数値が上昇します。原因としては

- ① 異物の混入
- ② システム障害
- ③ 洗浄不良等

の3つ多いのですが、近年は乳房炎での生菌数上昇も原因として多くの割合を占めています。洗浄等の留意事項については先般配布いたしました搾乳機器管理手引書を再度ご覧の上ご確認願います。新鮮な牛乳を供給する為や、国産チーズ補助等の障害にもなりますので、所得確保の為にも定期的な点検をお勧めいたします。

搾乳機器の整備と点検がなされたシステムが、健康的に牛を守る要素でもありますので、多忙な時期とは存じますが宜しく願います。



膵臓・胆のうドックのご案内

■ 膵臓がんは発見が難しい病気です

国立がん研究センターの統計では、膵臓がんは日本人のがん死亡率の第4位を占める恐ろしい病気です。膵臓は非常に薄い臓器のため小さく、周囲の臓器や神経に浸潤しやすく、症状が出現したときには既に進行がんとなっているため手術不能の状態となっていることが多いことから、小さな早期のがんを見つける事が根治には欠かせません。胆のうがんや胆管がんも膵臓がんと同様に難治性がんといわれ、早期に発見することが大切です。

■ 膵臓・胆のう・胆管と関係した疾患の拾い上げのために適切な検査を行います。

当ドックでは、膵臓・胆のう・胆管疾患の発見に有用とされている非侵襲的な検査である画像診断、つまりエコー検査とMRI（MRCP検査）を行い、さらに腫瘍マーカーを含めた血液検査を合わせて総合的に診断し、早期がんの拾い上げを行います。

■ 検査・診断には膵臓・胆のう・胆管疾患に精通した 内科医師、診療放射線技師が行います。

当ドックエコー検査、MRI検査は膵臓・胆のう・胆管疾患に精通した放射線技師が行い、さらに総合的な診断を膵臓・胆のう専門の内科医師が行います。

検査の内容

- ➔ 血液検査（腫瘍マーカー含む14項目）
- ➔ 超音波検査
- ➔ MRI（MRCP）検査
- ➔ 専門医による診察・結果説明

料 金

25,000円（税別）

実施日

■ 毎週月・火・木曜日

14:15～16:00

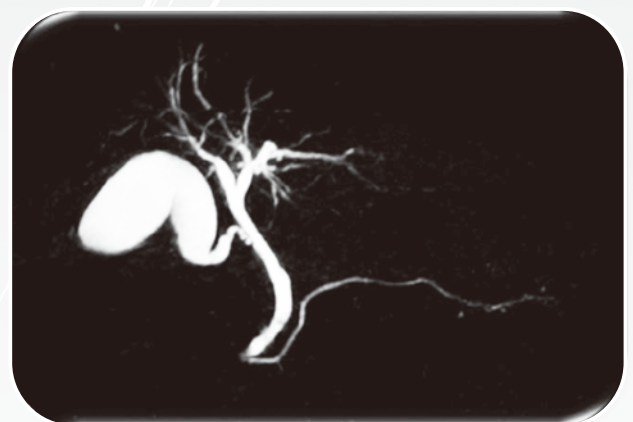
- ※都合により変更となる場合あり
- ※一部の結果は後日お知らせとなります
- ※完全予約制（1日1名）
- ※検査時間60分程度

心臓ペースメーカーや埋込式除細動
脳動脈クリッピング術後
閉所恐怖症の方は
検査が受けられない可能性があります。
必ず予約時にご確認ください。

超音波画像



MRCP画像



ご予約・お問い合わせは
遠軽厚生病院 健康推進課 人間ドック予約係
0158-42-4101 内線3489

乳がん検診 マンモグラフィ＋超音波検査 併用検診のご案内



乳がんは女性のがん罹患率第1位

乳がんは、女性がかかってしまうがんのうち1位となっています。
乳がんは早く発見することで治りやすいがんと言われており、早く発見するためには“検診”を受けることが重要です。



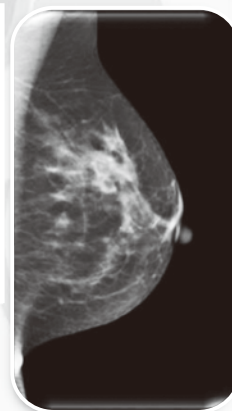
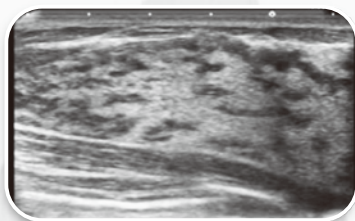
超音波を併用することでがん発見率がさらに上がります！

近年、検診でマンモグラフィと超音波を同時に行うことでがんの発見率がさらに上昇するとの研究結果が出ました（40歳代のデータ）。
マンモグラフィと超音波にはそれぞれ一長一短がありますので、当院ではどの年代の方にも両方受けていただくことをお勧めします。両方を行うことにより、偽陽性（精密検査の必要のない病変を要精密検査としてしまうこと）などを減少させる効果があると言われています。
（ご要望に応じそれぞれの単独もお選びいただけます）



精度の高いマンモグラフィ＋超音波併用検診を受けましょう！

超音波検査はX線被ばくがなく、安全で、身体的苦痛がなく受けていただくことのできる検査です。
当院には、学会認定のマンモグラフィ撮影認定技師や乳腺超音波認定技師が在籍しております。最終判定は乳腺の専門医が行います。
ぜひこの機会にマンモグラフィ＋超音波併用検診を受けてみませんか？



料 金

超音波検査：3,000円（税別）

※完全予約制（1日5名）

※検査開始：14:00～

都合により前後する場合があります

※検査時間 15分程度

ご予約・お問い合わせは

遠軽厚生病院 健康推進課 人間ドック予約係

0158-42-4101 内線3489

農協 お知らせ版

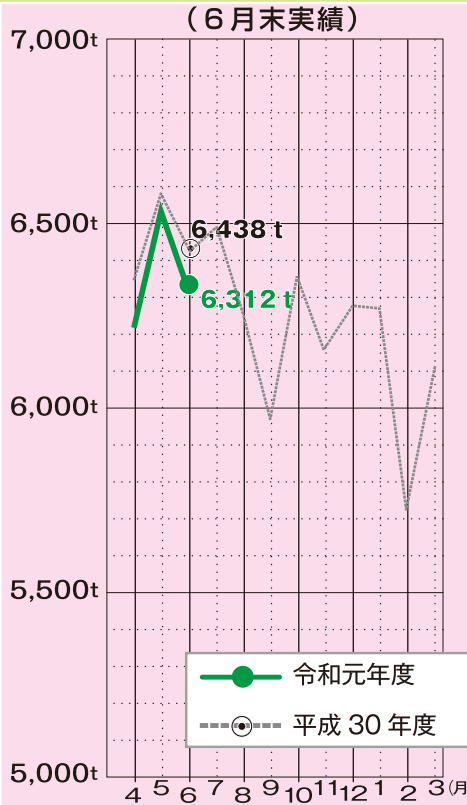
令和元年度 第5回理事会
6月25日開催

報告事項

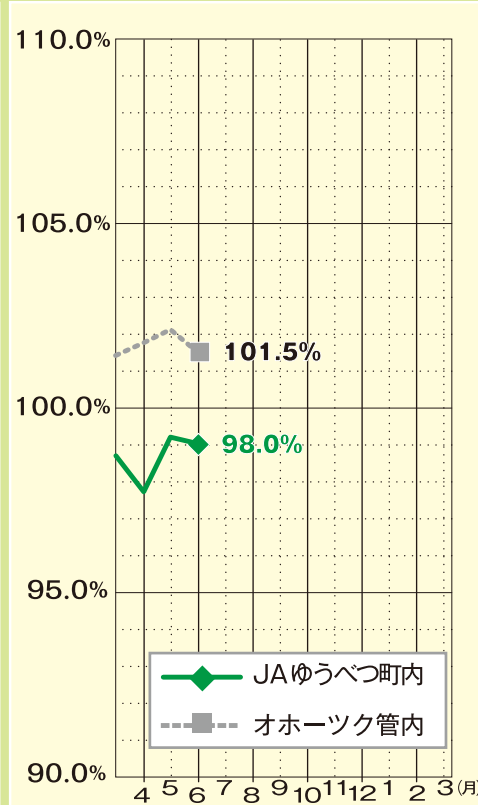
- ① よつ葉乳業取締役会について
- ② 監事監査について
- ③ 第1四半期棚卸の結果について
- ④ 北見畜産公社獣魂祭について
- ⑤ よつ葉集送乳委員会総会について
- ⑥ 系統市場委員会視察研修について
- ⑦ JAゆうべつ町ホルスタイン共進会について
- ⑧ 道酪農政策課題検討委員会・肉用牛政策課題検討委員会合同会議について
- ⑨ 各連合会総会について
- ⑩ 令和元年5月末生乳生産実績について
- ⑪ 自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について

令和元年度 生乳出荷状況について

JAゆうべつ町生乳出荷乳量推移



生乳出荷乳量との前年比較



- ### 協議事項
- ① 組合員の異動について
 - ② 固定資産の処分について
 - ③ 令和元年度個人情報保護計画の政策について
 - ④ 組合員交流会の開催について
 - ⑤ 組合員親子交流会の開催について
 - ⑥ JAゆうべつ町ふれあいまつりの実施について
 - ⑦ 小麦自主検査員の専任について

●お盆休業中の業務日程について●

● 農協事務所・農協金融窓口・ATM・生産資材店舗・整備工場

月日	曜日	事務所	金融窓口	ATM	生産資材	整備工場
8月15日	木	休業	9:00~15:00	9:00~18:00	休業	休業
8月16日	金	休業	9:00~15:00	9:00~18:00	休業	休業

● (株)Aコープゆうべつ

月日	曜日	Aコープゆうべつ店	ハマナスクラブ芭露店	湧別給油所	芭露給油所
8月15日	木	9:30~19:00	7:00~21:00	8:30~17:00	8:30~17:00
8月16日	金	9:30~19:00	7:00~21:00	8:30~17:00	8:30~17:00

● 飼料	15日	休業	受付はホクレン飼料受注センターで行います。 TEL 0157-47-2066
● 配送	16日	平常業務	

● 共済 (交通事故対応)

JA 共済事故対応受付センター (フリーダイヤル) 0120-25-8931